



Vol. 4

おくりものの本



# 紙ひこうき

児童書リスト



一宮市立子ども文化広場図書館

2014年4月

## 【初級】おはなしを読みはじめたみなさんへ



### 一さつのおくりもの

森山 京／作 鴨下 潤／絵  
講談社

クマタには、まい日くりかえしよむ、おきにいりのえほんがあります。ある日大雨がふり、山のむこうの村が、水びたしになってしまいました。みんなで、なにかできることはないかとかんがえ、えほんをおくりにしました。クマタがもっているえほんで、よごれていないものは、おきにいりのえほんだけ。さあどうしよう。



### きつねの でんわボックス

戸田 和代／作 たかす かずみ／絵  
金の星社

こぎつねをなくしたかあさんぎつねは、なみだでからだがかとけてしまいうらいなきました。ある日の夕ぐれ、ようやくかおを上げてあるきだしたとき、山のふもとのでんわボックスの、あたたかな明かりに気がつきました。そこで、なくなったこぎつねとおなじくらいいの、にんげんのおとこのこを見つけたのです。



### おばあちゃんのおてきな おくりもの

カーラ・スティーブンス／さく イフ・ライス／え 掛川 恭子／やく  
のら書店

ハタネズミのおばあちゃんは、ひとりぐらしです。ゆきの日、モグラとハツカネズミとトガリネズミが、おばあちゃんの家へスープをとどけに行きました。こごえそうなくらいさむいへや。みんなは、まきをはこんでストーブに火をつけました。あたたかくなったへやの中で、おばあちゃんはすてきなお話をしてくれましたよ。



### ちびドラゴンの おくりもの

イリーナ・コルシュノフ／作 伊東 寛／絵 酒寄 進一／訳  
国土社

ハンノーは、学校のかえり道にであった、小さなドラゴンと友だちになりました。あそんだり、ぺんきょうしたり、たくさんの時間をふたりはいっしょにすごします。ちびドラゴンは、ハンノーをほめてくれます。ハンノーをはげましてくれます。おくびょうもののハンノーは、すこしずつじしんをもっていくのでした。



## うさぎの庭

広瀬 寿子／作 高橋 和枝／絵  
あかね書房

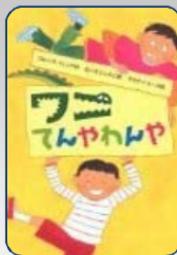
修は、自分の気持ちを上手に話すことができません。飼っているうさぎのチイコにだけ、思いを伝えることができます。ある日、友だちの小野くんにさそわれて、古い洋館へ行きました。そこに住むおばあさんに話を聞いてもらううちに、修は少しずつ、変わり始めるのでした。



## より道は ふしぎのはじまり

赤羽 じゅんこ／作 夏目 尚吾／絵  
文研出版

亜子は、学校のかえり、風太とより道して、知らないおばあちゃんの家でかきの木を見つけました。このかきを食べると、あらふしぎいつもとちがった自分になっちゃった。次の日から、そのかきを食べたクラスの友達にも変化が、風太！みんなになにしたの？



## ワニ てんやわんや

ロレンス・イェップ／作 ワタナベ ユーコ／絵 ないとう りみこ／やく  
徳間書店

いつもおこうさんの弟ポビー。兄のテディは、ポビーをびっくりさせようと思い、誕生日プレゼントにワニをえらびました。あかちゃんワニは、小さいくせに、しっぽをふりまわしたり、するどい歯で肉をくいちぎります。それなのに、ポビーは大よろこびで、ワニの世話を始めたのです。



## しずくの首飾り

ジョン・エイキン／作 ヤン・ヒアンコフスキー／絵 猪熊 葉子／訳  
岩波書店

ローラが生まれたときに、北風がおくりものをくれました。それは、ほそい銀のくさり、きらきら光る雨つぶが3つついていました。その雨つぶは、ローラにふしぎな力をくれましたが、そのふしぎな力がわざわいして、首飾りをなくしてしまいました。

他にも、きそうてんがいなお話が7つ。

【上級】深く考えて読んでみたいみなさんへ



## 卒業の歌 ～ぼくたちの挑戦～

本田 有明／著  
PHP研究所

いつもまとまりのない6年3組。そんなクラスが、小学校最後の思い出に、校内合唱コンクールで、創作曲に挑戦することになりました。作詞は翔太、曲は麻里絵が担当です。しかも歌詞はクラス全員が出し合うことになり、翔太は頭を悩ませます。ようやく歌が完成して練習がはじまると、クラスが一つになっていきました。



## シャーロットのおくりもの

E. B. ホワイト／作 ガース・ウィリアムズ／絵 さくま ゆみこ／訳  
あすなろ書房

一匹だけ小さく生まれた子ブタのウィルバーは、女の子ファーンに育てられ、すくすく成長しました。農場で楽しく暮らしていましたが、ある日ハムにされると知ってショックを受けます。ウィルバーを救うために、クモのシャーロットは知恵をしぼり、遂に奇跡が起きたのです。



## 銀のロバ

ソーニャ・ハートネット／著 野沢 佳織／訳  
主婦の友社

第1次世界大戦中、ふたりの少女は、戦場からにげだした盲目の兵士に出会いました。兵士は世話をしてくれる少女に、4つのロバにまつわる物語を話してくれます。その物語は、哀しみにみちていましたが、人の持つほんとうの勇氣、思いやり、愛情について考えさせるものでした。

## 「紙ひこうき」を手にとってくださいました方へ

「本」を読んで、ほんわかあったかい気持ちになったことはありませんか。

それって「本」からの お・く・り・も・の ？

紹介した本を読んでくれた人に、物語のよろこびをプレゼントできたらいいなと思っています。

